

64

支那の足出し

第四章 國民所得及支出（一九三八年、一九四〇年）

220

支那の足出し

65

一、中央統計局、推計ニ係ル本調査、結果ハ左ノ三表ニ收メラレルモノ
デアル。

第一表

國民所得純額及使途別國民所得純額、推計

第二表

私人所得及使途別私人所得、貯蓄、推計

第三表

政府ノ使用ニ供シ得ル純民間資金額、推計

二一九四〇年中ノ各種情勢ノ急激ナル變化ニ鑑ミ、第一表ニ於テハ一
年間ヲ總括シタモノノミナラズ、四半期別、モノモ揚ゲル事トシタ。
三、此處ニハ凡テ概算的ナ數字シカ興ケラレナカッタモノ、其ノ項目ノ
多クハ、單ニ相互間ノ數字ノ大小ヲ比較シ得ル程度ノモノデアアル。
之ハ戰爭ニ因ル各種障害ニ影響サレタ性質ノモノニ付テ特ニソウデ
アル。

四、各表ニ於ケル數字ハ月々各調査年度ニ於ケル市價ニ依ツテ算ハサレ
タモノデアアル。
五、一九四〇年ノ四半期別ノ推計ニハ悉節總計ハ除去サレテ居ナイ。此

66

項目	一九三八年				一九四〇年				計
	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	
(一) 地代賃貸料	三五二	九二	九三	九二	三五二	九二	九三	九二	三七〇
(二) 利潤、利子 (稅控除前)	一一七八	三四七	三八七	三八六	一一七八	三四七	三八七	三八六	一、五一四
巨俸	九八〇	二六四	二七六	三〇〇	九八〇	二六四	二七六	三〇〇	一、一三五
國債									
(兵士及商店員へノ支拂子金)	一一、八二〇	五六二	六二二	六五二	一一、八二〇	五六二	六二二	六五二	二、四八三
其 他	八五	二一	二一	五	八五	二一	二一	五	八四
國民所得推察 (前控除前)	四四一五	一二八六	一、三九九	一、四五〇	四四一五	一二八六	一、三九九	一、四五〇	五、五八六

(一) 一九三八年及一九四〇年ノ國民所得推察ノ推計 (單位百萬圓)

ノ管ウリスマス (七)ニ於ケル私人支出ガ大トナリ、隨ツテ一九四〇年第四四半期ニ於ケル小賣商品ストックノ減耗モ大トナツテ居ル (第十項目)

六別ニ各表ノ項目別ニ附屬ナル註釋ヲ付シタ。

第一表

国民所得推察

67

(回) 一九三八年及一九四〇年ノ使途別國民所得ノ推計

(單位百圓)

仕私(市價)支出	一九四〇年				計
	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	
物産並勞務ニ對スル政府支出	五五八	六四六	八八七	一、〇〇九	三、一〇〇
中間接稅其他公課	一九三	二〇五	二二七	二四三	八六八
(+ 純投資及投資ノ回收)	(一) 一〇二	(一) 一四四	(一) 三九四	(一) 四三五	(一) 九四九
(dividend payment)					
不詳	二				
純國民支出	一、二八六	一、三九九	一、四五〇	一、四五一	五、五八六
仕私(市價)支出	三、九九七	一、〇七六	一、〇八四	一、一二〇	四、三〇三
計	一九三八年	一九四〇年	一九四〇年	一九四〇年	計

※項目(七)(九)ノ總額ヲ項目(六)ヨリ控除シテ得タモノ

69

第三表 一九三八年及一九四〇年ノ政府ノ使用ニ使シ得ル純民間資金額ノ推計 (單位百萬元)

項目	一九三八年		一九四〇年	
	額	推計	額	推計
(一) 私人貯蓄總額及純投資回收額	七〇	七〇	一五四九	一五四九
(二) 法人貯蓄	二〇三	二〇三	二八一	二八一
(三) 直接貯蓄	五三	五三	一九三	一九三
(四) 直接貯蓄超過額	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(五) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(六) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(七) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(八) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(九) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十一) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十二) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十三) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十四) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十五) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十六) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十七) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十八) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(十九) 政府ノ必要トセ	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三
(二十) 民間資金	一八六	一八六	二〇二三	二〇二三

項目(一)ノ貯蓄額ト項目(二)ノ投資ノ回收額ト併セテモノト一致スル譯デアアル。而シテ之ハ一九三八年二八五九百萬元一九四〇年二八十五億五千七百萬元ニ達シタリ。第三表ノ數字ハ第一、第二表ノ夫ト大體獨立シテ居ルモノデアアル。故ニ第三表ニ表ハサレタ結果ハ、第一、第二表ノ結果ガ餘リ不正確デナイトイフ事ヲ示ス事トナル。

70

◎ 第一 志

(一) 此ノ項目ハ昨年以來、再賦課ニヨル増加分及ビ空襲ニヨル結果ヲ考慮シテ調整セル所得税法A表(土地建物所有ニヨル所得ニ對スルモノ)ニ基ク賦課額ニヨル。

(二) 此ノ項目ハ外國人ニヨル所得及國債利子ヲ除キ(事業ノ損失ヲ計算ニ入レル)一方小額財産カラ、所得、慈善事業ニ投下サレタルモノヨリノ所得、其他政府收入(事業利得投下資本ノ所得其他海外ヨリノ收入)ヲ加算シテ調整セル所得税B、C、D表ニ基ク賦課額ニヨル(B表―土地占有ニヨル所得ニ對スルモノ、C表―國債利子ニ對スルモノ、D表―商工業、自由ヨリノ所得ニ對スルモノ)此ノ項目ハ半ケ年毎ニ賦課サレル漏給賃金生活者ヲ除キタル所得税法E表ニ基ク賦課額ニヨル。(E表―政府、公的會社公共團體等ヨリノ報酬ニ對スルモノ)

21

四 現品ヲ所得ノ一部ヲ受取ツテキル賃金生活者ノ場合ニハ、(例ヘ
 バ軍隊ニ居ル者又ハ家内使用人等)之等ノ手當ハ被等ノ現金タル
 賃金ニ加算シタ。私人支出ノ見積リモ(項目四及二十四)同方法
 テ行ハレタ。

所得税免稅點以下ノ俵給生活者又ハ獨立生活者ノ所得ヲモ含ム。
 (六) 項目四及ビ續言ヲ見ヨ。

此ノ項目ハ物品或ヒハ勞務ニ對スル直接ノ需要ヲ意味シナイ公共
 支出ノ項目ヲ除外スル。例ヘバ(1)國債利子、(2)地方廳ニ對スル補
 助金、(3)地方税ノ代リタル政府交付金、(4)養老^(社會無シ)年金、其他恩給相
 ニヨリ管理サレタル恩給ト保護院ニヨリ支拂ハレタル理金給付、
 (5)社會保險ニ對スル政府交付金、(6)國債ノ償却及減債基金繰入金
 (7)公共補助金(貧民救濟)
 郵政廳ノ支出ハ除外サレル。奈何ントナレバ(1)之ハ特別勘定資本
 支出項目(1)ニ含マレテ居リ、(2)郵便業務ニ關スル賃金等ノ人件費

72

ハ項目七ニ含まレテ居ルカラデアル。而シテ(3)郵便業務ニ關スル
業務ハ項目七(八)(九)ニカ、ゲテキル他ノ商品及ビ勞務ノ價格ニ生
産費トシテ加算サレテキル。

各種

同様ニ建築其他事業ニ對スル地方廳ニヨル支出ハ除外サレテ居ル。
此ノ項目ガ含ム收入ハ(1)關稅及酒稅、(2)財産移轉ニ對スルモ、
以外ノ印紙收入、(3)自動車稅、(4)地方稅、(5)社會保險ニ對スル雇
主ノ強制分擔金、而シテ(6)戰時危險保險ニ對スル強制的分擔金ノ
中補償金トシテ支拂ハレテキナイ部分。

此ノ項目ハ(七)(八)及(九)ニ含まレテキルガ、項目(六)ニハ含まレテキナ
イカラ(一)トシテ控除スル必要ガアル。

此ノ項目ニ含まレルモノハ(1)在外資産ニ對スル純投資及投資ノ回
收額、(2)民間資金ヲ融資サレタ固定或ハ流動資本ニ對スル國內投
資或ハ投資ノ回收額(填補金ノ支拂ハレテキナイ財産ニ對スル戰
時損害ニヨル投資ノ回收額ハ除外ス)、而シテ(3)貯蓄ノ投資ニ關

73

聯セル處ノ費用。

結局一九四〇年ニ於ケル投資ノ回收額ノ概算ハ(1)外國人ニ對スル負債ノ純増加ニ加フルニ海外資産ノ純損失、(2)私企業ニヨル現在セル固定資本、土地或ハ貯蔵品ノ國家ニ對スル賣却、(3)實際ニハ固定設備等ノ更改ニ使用サレナカッタガ通常減價償却ニ向ケラルベキ部分、(4)實際ニハ損害財産ノ更改ニ使用サレナカッタガ戰時損望ヲ受ケタ財産ニ支拂ハルベキ増補金ノ部分、(5)從來ヨリ高イ價格デストツクヲ更改スル必要ヨリ生ジタ相殺的項目。

◎第一表ニ對スル補助説明

此處ニ項目(七)(九)ニ示サレタ部門ニ我現在ノ國民所得ガ如何ニ配分サレテキルカヲミルニ左ノ如クデアル。註(間接税ハ之ヨリ控除サレル)

一九四〇年中ニ於テ私人消費並中央政府及地方廳ノ需要ニ向ケラ

74

レタ資源ハ、純國民所得ヨリ利用シ得ラル、資源ヲ超過シタガ、之
 之ハ國內及海外ニアル主要資産、回收ニヨツテ生ジタ資金ニヨツ
 テ補充サレテ居ル。

純國民所得ノ各種目的ニ配分サレタ割合(%)

國民所得純額ノ合計	一九三八年			
	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
七七	六六	六四	六二	六三
一九	四二	四五	五九	六七
四	八	九	二一	三〇

註：間接税ハ此處ヲ左ノ如キ二種ニ分タレル。

- (1) 麥酒、煙草、自家用自動車、住居ノ如キ個人ノ消費ヲ對象トシ
 タモノ。
- (2) 商業用自動車、店舗、如キ主トシテ生産ヲ對象トシタモノ。

75

(2) ノハ「消費」一物資勞務ニ對スル政府支出」「國內投資ニ對スル支出」ノ各部分ニ平均ニ行巨ツテキルモノトスル。

◎ 第二表

此ノ項目ガ含ムモノハ、(1) 國債利子、(2) 恩給其他計凡(4)ニ掲ゲタ他ノ項目、(3) 失業保險扶助料、(4) 貧民救濟令、(5) 國民健康保險制度ニ基ク現金給付、(6) 寡婦孤兒及老齡者ニ對スル給與、(7) 國家ニ依リ支拂ハレタ宿泊手當(空爆避難兒童等ノ地方ニ於ケル宿泊手當)。

此ノ項目ハ現行稅率ト現在ノ水準ニ於ケル所得ニ對シテ加ヘラレタ直接稅負擔ノ見解概算ニヨル。夫故ニ該期間實際ニ支拂ハレタ稅トハ異ナル譯デアル。直接稅ハ所得稅、超過所得稅、國防稅、超過利得稅及社會保險ニ對スル勞働者ノ強制拂込保險料等ヲ含ム。

此ノ項目ノ含ムモノハ、(1) 新聞、(2) 醫藥、(3) ホテル及料理店ノ勞務、(4) 娯樂、(5) 郵便勞務、(6) 理髮、(7) 賭金(取分ヲ控除)、(8) 葬式ノ

76

費用、(9)個人教育、10 ヲ以テ費用等デアル。

④項目ニ於テ参照

⑤項目ニ於テ、租有権者ヲ含ムガ、直接税、實際支拂額ハ、含ンデキナイ
爲現在、所得ガ課税額査定當時ヨリ大トナリツテキル様ナ場合ニ於テ納税
ノ爲、準備金ヲ私人貯蓄ニ含メナイ。

◎ 三 表

① 地方債ノ純貯蓄額トハ、其、資本勘定支出(項目ニ含マレテキ
ル)並ニ他事業ニ對スル資本的支出ヲ除キ、ト負債ノ償還、減債
基金總入ヲ通シテ、地方債ノ貯蓄額トシテ、差ト塔ス。

② 實際、和合支拂額ヲ超過スル直接税現在預備金ニ應ズル爲、資金
ガ、私人貯蓄額(項目二十五、二十七)及法人貯蓄額ヨリ扣除サ
レテキルガ故ニ、此、項目ハ政府支出、財源トナル民権資金トシ
テ別個ニ含マレネバキマ。

③ 政府支拂豫算ニ基クテ、支出ハ、一九三七年及一九三九年、既防金

77

債法及一九三八年英土（軍需品購入）レチツト一協定法ニ基キ支
出ヲ含ム。

但シ、存、如キモノヲ除外スル。

(1) 收支均衝勘定支出（郵政廳、放送局支出）

(2) 減價基金繰入金

(3) 郵政廳別途勘定支出（項目二十七ニ含まル）

國之ハ收支均衝勘定收入ヲ除ク。

國之ガ（一）トナツテキルノハ豫算外收入ニ奪合ガ蓄積サレ、バ、政府

支出財源トシテ民間ヨリノ奪合ヲ求メル事ガ少クナルカラテアル。

國之ハ項目三十二ニ含まレテキル於此處デハ追加セネバラナイ。

奈何ントナレバ之ハ個人又ハ會社等ノ貯蓄總額ニ喰込ムカラテアル。



